

ぼうけん なぞと
冒険・謎解きブック

きくちじょう

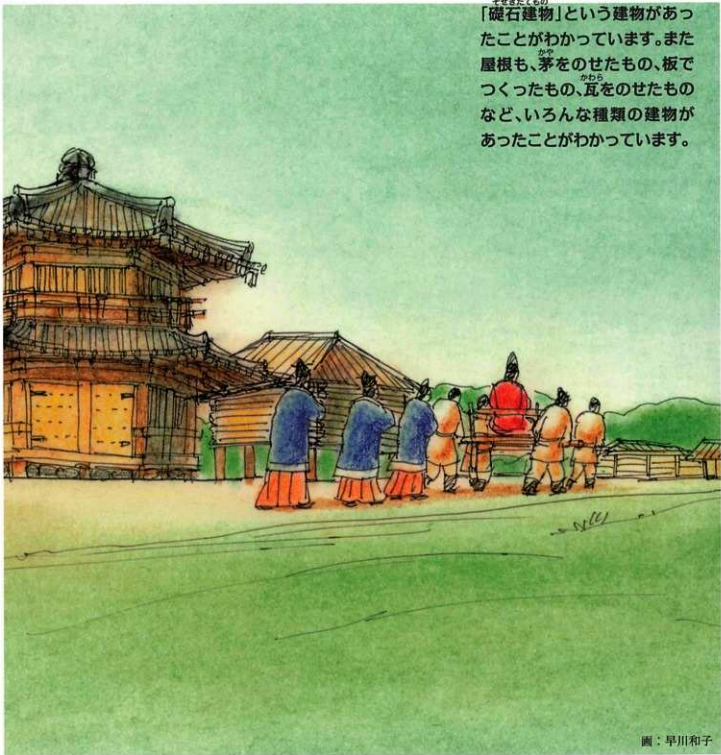
鞠智城を 探ろう！

今から1300年も昔に造られた鞠智城には
不思議な八角形の建物や
兵士たちが暮らしていた建物、
倉庫などがありました。
鞠智城の建物を探ってみましょう！

？
鞠智城の
調べよう
建物を

鞠智城では、300年間に いろいろな建物が つくられていた!

鞠智城^{せいらき}は西暦665年ごろから、約300年間も続いたので、いろいろな作り方の建物が見つかります。これまでの調査で、地面に穴を掘^ほってその穴に柱を立てる「掘立柱建物」、地面の上に石を並べてその上に柱を置く「礎石建物^{そせき}」という建物があったことがわかっています。また屋根も、茅^{かや}のせたもの、板でつくったもの、瓦^{かわら}のせたものなど、いろいろな種類の建物があったことがわかっています。

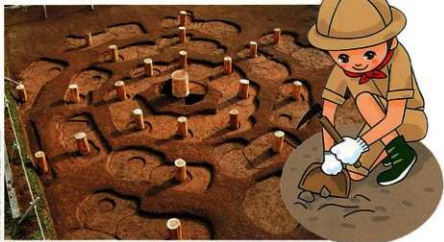




60号建物跡



56号建物跡

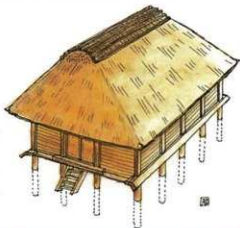


八角形建物跡

掘立柱建物

掘立柱建物とは、地面に穴を掘って、そこに柱を立てて建物をつくったものです。遺跡を調査すると、木の柱そのものは残っていませんが、柱を立てるための穴が規則正しくならんでいるので、そこに建物があったことがわかります。

掘立柱建物には、鞠智城跡で板倉として復元している高床式の倉庫や、兵舎として復元している平屋の建物があります。屋根は板のままのものや茅をのせていたものが多かったと考えられています。



5号建物跡



28号建物跡



6号建物跡と板倉

礎石建物

礎石建物とは、建物の土台に石を置き、その上に柱を立てて建物をつくったものです。遺跡を調査すると、大きな石が規則正しくならんで見つけられます。

礎石建物は、土台に石を置いているので、上の建物が重くても地面に沈んでいくことはありません。そのため、鞠智城では米などの重いものを保管する倉庫として使われていたようです。また、礎石建物跡のまわりからは瓦が多く見つかっていますので、屋根には瓦がのっていたようです。



20号建物跡



40号建物跡



21号建物跡と米倉

鞠智城のシンボル、八角形建物

鞠智城に入るとすぐに見えてくる大きな建物が「八角形建物」です、名前のとおり八角形の形をした不思議な建物で、300年の間に、全部で4つ(2つを2回)造られていました。同じような八角形の建物が見つかった遺跡は、

日本の古代山城こたいやまじょうでは鞠智城だけで、古代山城以外では大阪府の前期難波宮跡なんばのみやあとや群馬県ぐんまけんの三軒屋遺跡さんげんやいせき、あるいは京都府の椋原廃寺跡むらきはらひじあてがあるだけで、大変めずらしい建物です。

4つ造られた八角形建物のうち、1つ目から3つ目までは、「掘立柱建物」で最後に造られたひとつは「礎石建物」だったことが調査でわかっています。

八角形建物がなぜ造られたのか、どんな役割をしていたのかは、いまのところはっきりとわかっていません。一番上の階で太鼓を叩いて時間を知らせるために造られたとか、見張り台として造られたとか、あるいはお祈りをするための場所として造られたなどのいろんな学説があります。



復元された八角形建物

1300年前の建物を体験してみよう!

鞠智城跡では、これまでに調べて分かったことを元に、八角形鼓樓や兵舎、板倉、米倉などの建物を、昔と同じ作り方で復元しています。

実際の建物を見て、触れて
1300年前の人たちの姿を感じてみよう!



兵舎



米倉



板倉



この電子書籍は、冒険・謎解きブック鞠智城を探ろう！2 を底本として作成しました。閲覧を目的としていますので、精確な図版などが必要な場合には底本から引用してください。

底本は、古代山城がある市町村教育委員会、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、都道府県の教育委員会、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

書名：冒険・謎解きブック鞠智城を探ろう！2 鞠智城の建物を調べよう

発行：熊本県教育委員会

〒862-8609 熊本市中央区水前寺 6 丁目 18 番 1 号

電話：096-383-1111

URL：<http://www.pref.kumamoto.jp/>

電子書籍制作日：西暦 2002 年 8 月 18 日